



	うか。
渡辺課長	(北潟自然再生協議会について概要を説明) 北潟湖に関する施策については後期基本計画において反映し、事業を拡大する方針となっている。北潟湖の水質については、科学的に調査をしている状況である。
会長	出前講座が減っていることについて、SDGsの考えも出てきているため、北潟湖の水質浄化の体験などを盛り込むといったことも必要。
副市長	SDGsの概念については次年度以降の総合振興計画において反映させていく。
坪田委員	水質が落ちてきている原因と、下水の接続率との関連はあるのか。 また、塩水の遡上が影響しているのかどうか。
渡辺加藤	下水との接続の関連は不明。 塩水の管理は開田橋で管理しているため、塩分濃度は低く、淡水化してきている。汚濁の原因は、富栄養化。丘陵地の化学肥料との意見もあるが、現在調査をしている。県立大学と連携し、100か所ほど水質を採取し、調査している。来年度には、原因が判明する予定。 農業排水による影響も考えられるため、JAとも連携して取り組んでいる。
坪田委員	開田橋の管理は、農地の取水を目的としていたが、北潟湖周辺は農作物をつくっていない。そのため、一度開けっ放しにして、水を入れ替えるのも一つの手ではないか
副市長	漁業組合との調整が必要。 また、北潟湖自然再生協議会との連携してやっていく必要がある。
坪田委員	環境問題について、外来種の草が増えてきている。何か対策は考えているのか。
渡辺課長	市全域で外来種の除去は実施していない。新たな外来種も増えているため、職員が出向き増加する前に除去している。
関委員	具体的にどういった方法で取り組んでいるのか。
渡辺課長	根っこから抜き、焼却している。
坪田委員	外来魚も増えているのか
副市長	ブルーギルが減ったとの年もあるが、詳細までは不明。
会長	【2】について事務局の説明をお願いします。
事務局	(【2】循環型社会の構築の説明)

会長	【2】について意見や質問はないか。
	事業系のごみが増えている要因としてはどう考えているのか
渡辺課長	廃品回収において、各家庭で段ボールなどを保管しておく場所がないとの声を聞いている。そのため、資源回収ではなく、通常のごみとして出してしまう傾向があるのではないかと考えている。
会長	食品ロスが原因なのか、一人暮らしが原因なのか、原因をはっきりさせたほうがいい。
渡辺会長	食品ロス、生ごみの排出が多い、フードバンクなどを利用して取り組んでいる。
関委員	段ボールなどの資源ごみを一時的に、各集落で貯めて置ける場所をつくるのもいいのではないか
渡辺課長	回収する業者との連絡調整も必要であり、今後検討する。
会長	【4】について事務局の説明をお願いします。
事務局	(【4】安心なまちづくりの推進の説明)
会長	【4】について意見や質問はないか。
会長	交通事故の件数が減っている要因は何か。
渡辺課長	警察や交通安全協会などと連携しながら夜間パトロールの実施などにより効果が出ている。
藤井部長	車の自動ブレーキなど技術が向上していることも考えられる。
会長	特定の交差点での事故が減ったのか。
藤井部長	そのようなことはないが、全体的に減少している。
堀江委員	空き家の適正管理について、粛々やっていることは評価できる。 特殊詐欺について、さらに強化して取り組んでいただきたい。
小嶋部長	特定空き家については市から補助金を出しながら、自主的な取壊しを促している。行政代執行については、行政負担になっていることもあるため、なるべく自主的に取壊しをしてもらうよう勧めている。
副市長	特殊詐欺について、市内でも被害があったことから啓発を強めていきたい。
坪田委員	指標の目標達成率が低い。行政のやっていることが見えていないのではないかと考える。
渡辺課長	出張相談会も実施しており、今後も周知を図っていきたい。公民館、セントピアなど人が集まりやすい場所を選定し実施している。

会長	【12】について事務局の説明をお願いする。
事務局	(【12】 社会保障制度の充実の説明)
会長	【12】について意見や質問はないか。
堀江委員	人間ドック受診者数について目標と差が生じているが、受診状況はどのようなのか。
山田課長	国民健康保険の予算は約220名、後期高齢者医療保険加入者の予算は約50名の枠を確保している。毎年申込制をとっており、希望している方は受診できている。受診券は数種類あるが、同封して郵送することで、受診忘れがないよう工夫している。
会長	【5】について事務局の説明をお願いする。
事務局	(【5】 保健医療の充実の説明)
会長	【5】について意見や質問はないか。
堀江委員	<43>について 指標 健康診断受診率が低い、数字の分母は何か。
出島課長	40歳以上の国民健康保険加入者
堀江委員	目標が40%となっているが、その数字は妥当なのか。
副市長	総合振興計画に基づき設定している。 40%の根拠だが、平成26年の数値が27.9%であるため、それを伸ばすために40%に設定。実績値に合わせて設定している。昔から比べれば伸びている。
江川課長	目標値の設定について、努力すれば達成できるような数値を設定するよう依頼している。
堀江委員	<45>の集団歯科検診者数について、対象者はだれか。
出島課長	全市民が対象。
堀江委員	数字自体が極端に少ないように感じるがどうか。
中道課長	自分で定期的に検診をしている人が多い、集団で実施する人は少ないと考えている。75歳以上の人には個別で検診を受けることができる。
会長	個別の歯科検診に補助はあるのか
副市長	75歳以上のみ。オーラルフレイルという考えもある。
長谷川委員	自殺者が多いとの記事があったが、今年のあるわら市の自殺者数は把握しているのか。
中道課長	近年は2～4人で推移している。

会長	【6】について事務局の説明をお願いします。
事務局	(【6】健康づくり活動の実践の説明)
会長	【6】について意見や質問はないか。
堀江委員	<54>伝承料理について 令和元年度の達成率が低い、ランクがAと高いのは、その整合性は？
江川課長	ランクの指標項目と、目標に対しての実績は相関をとっているわけではない。
笹原委員	独自性を低くしている中で、おばあちゃんの味については高いが、どういった部分が、独自性が高いと判断しているのか。 こども食堂と連携すればさらに独自性が広がるのではないか。
糠見部長	伝承料理を教育機関や公民館などで実施していることで独自性が高いと考えている。
会長	サロンの活動について、気軽にいけることも強みだと思う。
糠見部長	すそ野を広げて、参加者を広めるようにしている。
会長	自由に参加できて、そこから専門的な分野に広げていくという方法もある。
会長	【7】について事務局の説明をお願いします。
事務局	(【7】地域福祉の推進と災害支援の説明)
会長	【7】について意見や質問はないか。
関委員	災害時要援護者の支援について 避難場所について、要援護者が対応できるように現地の確認はとっているのか。トイレなどは、高齢者や障がい者の人が避難したときは和式しか使えないため、自宅にいるという声も聞く。
江川課長	現地確認はしている。
副市長	避難所のトイレも順次洋式化している。 コロナ禍の中で、自宅で避難するなど、新しい非難方法も検討しているが、大規模災害時には避難せざるを得ないため、マンホールトイレや、弱者用の避難所(老人福祉施設)も検討している。
堀江委員	要援護者台帳の登録率が低い。
副市長	自己申告制のため、伸びていない。 地域で自主防災組織をつくり、共助、地域内の弱者の把握に努めるよう推進している。

会長	【9】について事務局の説明をお願いします。
事務局	(【9】高齢者福祉の充実の説明)
会長	【9】について意見や質問はないか。
堀江委員	<73>老人クラブ加入率の分母は何か。
出島課長	65歳以上
堀江委員	65歳以上だとほとんどの人が入らない。対象年齢を上げるか、名称を変えないと数値があがっていかないと思う。
副市長	老人クラブの加入者平均年齢は80前後ではないか。
糠見部長	名称もシニア倶楽部といったように変えていくのがいいのではないかと考えている。
長谷川委員	団塊の世代は加入していないところが多い。
会長	地域包括支援センターで他機関と連携すると記載があるが、どういった機関と連携し、どういった課題があると考えているか。
出島課長	市単位ではなく、旧町単位で考えていく必要があると考えている。民生委員、ケアマネジャーとも連携してやっていきたいと考えている。
会長	事例の早期発見の具体的なものはあるか。
副市長	医療と福祉介護、災害、地域との連携を図っている。
坪田委員	福祉施設は職員の人員的には充実しているのか。
出島課長	坂井地区で連携しており、充実している。
坪田委員	施策の指標が、事務事業の指標を使っているのは問題ないか。
副市長	同じ考え方であるため問題ない。
笹原委員	老人センターや保健センターの利用について、目標数値が高いように感じる。実績との乖離があるように感じているが。
江川課長	平成28年度に目標値を設定して、そこから考えている。
関委員	地域包括支援システムについて、地域は弱体化している。地域ではなく、家族の絆を深めていくような施策が必要ではないか、同居政策のようなもの、同敷地内に家を建てる、といったような施策が必要ではないか。
副市長	市としては小学校単位で実施していくのが良いと考えている。
小嶋部長	Uターンを促進するため、近居や多世代同居する場合のリフォーム補助を実施し、促進している。
会長	【10】について事務局の説明をお願いします。

事務局	(【10】 障害者福祉の充実の説明)
会長	【10】について意見や質問はないか。
会長	相談支援センターについて、事業のすみわけはどのようにしているのか。
江川課長	ひなた工房に相談支援、坂井地区、丸岡地区においてもそれぞれ民間の会社に事業を委託している。対応できないような困難な場合は、相談支援センターに移行するというように分けている。
会長	【11】について事務局の説明をお願いします。
事務局	(【11】 児童福祉の充実の説明)
会長	【11】について意見や質問はないか。
堀江委員	充足率が定員をオーバーしているといった問題はないのか。 定員を増やすことはできないのか。
副市長	計画上、定員の変更はできない。定員を割ることのないよう取り組んでおり、経営の安定につながっている。
会長	【13】について事務局の説明をお願いします。
事務局	(【13】 学校教育の充実の説明)
会長	【13】について意見や質問はないか。
笹原委員	不登校対策の現状を教えてください。
岡田課長	たんぼぼ委員会というものを設置。小中学校の教諭、子育て支援センターの職員、ソーシャルワーカーなどを構成員として、情報交換をしたり、研修を実施している。
会長	ふるさと教育の推進について、具体的にどのようなことをしているのか。
岡田課長	修学旅行の際に、あわら市のパンフレットを配布するなど、地元のPRを通してふるさと教育を実施。 また、学芸員がふるさとの宝を紹介するなど、地域の資源について紹介している。
会長	他市の事例をみると、大人たちがやっても、こどもたちはふるさと教育だと認識していないことが多いが、アンケート結果から、あわら市ではそれが浸透している、効果が表れているのかなと感じた。
会長	【16】について事務局の説明をお願いします。
事務局	(【16】 生涯スポーツの推進の説明)

会長	【16】について意見や質問はないか。
会長	参加者数が減少していることの要因として、内容が時代とマッチしていないとの記載があるが、これから改善していく方向性はあるのか。また、原因がわかっているにもかかわらず、改善できないのはどういった問題があるのか
宮川課長	例えば、市民体育祭について、時代とマッチしておらず、人が集まらない。今後、スポーツフェスティバルなどのような形でできないか協議をしている。
会長	他市町だと、なぎなたをやっていて、それだと参加者が集まらない、しかし構成員になぎなた協会が入っているからやめることができない、といった状況があると聞いている。他にもマラソン大会をオンライン上で開催し、タイムを競うなどの形態もとっている。 それぞれが市民の求めている内容が変わってきているため、もう少し分析して考えていく必要がある。
宮川課長	引き続き検討していきたい
笹原委員	スポーツ少年団の加入率が減っていき、クラブチームへ切り替わっていく中で、実情とのミスマッチはないのか。
宮川課長	教員の働き方改革により、部活を切り離すという方針になった。一方、クラブチームでやっていきたいという声もある。
会長	【14】について事務局の説明をお願いします。
事務局	(【14】 青少年の健全育成の説明)
会長	【14】について意見や質問はないか。
堀江委員	事業費のグラフ、減少傾向にある理由は。
西川部長	団員数が減ることにより、事業費が減っている。事業目的が変わったからといって減っているわけではない。
笹原委員	時代に併せて、野球部やサッカー部といったスポーツ少年団ではなく、運動部のような新たな形態も検討していく必要があるのではないかと。
会長	【15】について事務局の説明をお願いします。

事務局	(【15】生涯学習の推進の説明)
会長	【15】について意見や質問はないか。
会長	各種講座の受講者数は横ばい又は減少傾向であるが、講座数自体に変化はないのか。
西川部長	小人数の講座で、数多くの種類を準備している。
会長	様々な視点から分析を進めていただきたい。
会長	【17】について事務局の説明をお願いします。
事務局	(【17】文化と芸術の振興の説明)
会長	【17】について意見や質問はないか。
堀江委員	<124>創作の森の入場者数について、年度によって増減があるが要因は何か。
西川部長	年間4つの企画展を実施しており、著名人が来たことにより増加。ただ、それが、創作の森としてやっていくべき事業なのかと葛藤はある。
副市長	体制についてもFBCと連携し、実行委員会方式にしていることも効果があったのではないかと考えている。
堀江委員	事業を維持していくためにも、大多数に受けるものが必要だと思う。
坪田委員	イベントだけでなく、知名度そのものをあげていく必要性があると感じる。
会長	【18】について事務局の説明をお願いします。
事務局	(【18】土地利用の適正化の説明)
会長	【18】について意見や質問はないか。
堀江委員	独自性については、もう少し高くてもいいのでは。用途地域の設定の仕方は独自性になるのではないか。
副市長	法令の枠内で地域性を出すのは難しく、それだけで独自性とは言い切れない。
会長	【19】について事務局の説明をお願いします。
事務局	(【19】道路交通網の整備の説明)
会長	【19】について意見や質問はないか。
坪田委員	コンパクトシティについて、中心部に田舎の人が来られるような道路網を計画する必要がある。市内の道路網の整備、駅前の道路の整備は重要だと考える。

龍田課長	コンパクトシティの考えとして、そういった考えが必要だとは認識しており、各種都市計画道路の整備を県に要望している。
長谷川委員	街中の道はきれいになったが、ある程度広い道で、車がとめられるようなスペースがあるような計画があるといいのでは。
龍田課長	検討していきたい。
会長	【20】について事務局の説明をお願いします。
事務局	(【20】新幹線開業に向けたまちづくりの説明)
会長	【20】について意見や質問はないか。
坪田委員	並行在来線は別の福井県単独の会社を作るのか。 富山まで行くのに、切符は買えないのは不便。
副市長	普通列車で富山まで行くことはあまり想定していない。
坪田委員	事業期間が延びることに対して、市としてどのような検討しているのか
副市長	本日、正式に遅れるという報告を受けたため、今後検討していく。 基本的には、計画通り整備を進めていく。
会長	【21】について事務局の説明をお願いします。
事務局	(【21】機能的なまちの整備と景観への配慮の説明)
会長	【21】について意見や質問はないか。
坪田委員	公共交通の件だが、バスとJRとの連携ができていない。タクシーも少ない。えちぜん鉄道との調整も含め、その辺の調整を市がすることはできないのか。 駅を降りて、どこへ行ったらいいのかもわからないような状況。
副市長	新幹線開業後にあわせて二次交通についても検討していく。 交通そのものを見直す予定となっている。
笹原委員	駐輪場の利用がかなり多い。自転車の数に対して、容量が足りていない。
副市長	駅周辺整備計画の中で検討している。
会長	街中の移動、デマンド方式に力を入れているのかと。
会長	本日子定の案件はすべて終了した。以上で、本日の会議を終了させていただく。
事務局	事務連絡(次回会議の件(11月13日(金))) (17:15閉会)